

問い合わせ先：
海上保安庁交通部整備課安全システム開発室
主任安全システム開発技術官 野口 英毅
(代表) 3591-6361 (内線6801)
(夜間) 3591-7913



平成21年10月26日
海上保安庁

AISの高度利用に関する国際専門家会議を開催します

海洋政策研究財団の平成21年度海外交流基金により下記の会議を開催します。

1 概要

船舶自動識別装置(AIS)は、船舶同士の衝突回避を目的として開発され、国際条約に基づき平成20年7月までに義務船舶への搭載が完了しました。AISは、本目的に加え、気象情報の伝達、航路標識への搭載、遭難通信システムとしての活用等、その高度利用に向けた大きな可能性を秘めています。

本会議では、これらのAIS高度利用について先進的な調査研究を進めている、オーストラリア、デンマーク、スウェーデン、イギリス、アメリカ、日本及び国際航路標識協会(IALA)の専門家が、各国のAIS高度利用の現状の発表を行い、AISによる情報提供のあり方や航路標識AISの利用指針について意見交換を実施します。そして、これを基に、利用指針の作成やシンボルの統一等の国際標準化に向けた提言を作成し、AIS高度利用の国際標準化の推進を図ることとします。

2 日程等

月 日	内 容	場 所 等
11月10日(火)	表敬訪問	海洋政策研究財団、交通部長室
	公開シンポジウム	日本財団ビル大会議室
11月11日(水)	テクニカルツアー	東京13号地船舶通航信号所
	会 議	国土交通省国際会議室
11月12日(木)	会 議	国土交通省国際会議室
11月13日(金)	会 議	国土交通省国際会議室

3 参加予定者

氏 名	所属、役職
Mr. William Cairns	IALA : e-NAV委員会議長
Ms. Jillian Carson-Jackson	オーストラリア海洋資源安全センター : 客員研究員
Mr. Jens Kristian Jensen	デンマーク海上安全局 : 技術開発官
Mr. Rolf Zetterberg	スウェーデン海事局 : プロジェクトマネージャー
Mr. Alan Stewart	イギリス北部灯台局 : 電子技術官
Mr. Jorge Arroyo	アメリカ沿岸警備隊ナビゲーションセンター : 技術官
今津 隼馬 博士	東京海洋大学副学長

11月10日(火)の公開シンポジウム及び11月11日(水)の会議冒頭については、取材が可能です。取材を希望される方は、上記「問い合わせ先」までご連絡下さい。